

（一）変換（応用は）至て自由

昭和六〇年（永）才一七〇七

控訴人 松下昇他へ

被控訴人 国

参加（忌避）申立書

前記事件に因して共同訴訟参加を申し立て、同時に大阪高等裁判所（石川、堀口、小沢）に対して忌避を申し立てる。

一九八六年三月二十四日（送達受取先を別にしてもよい。）

大阪高等裁判所 御中

住居、氏名（印）（経費名でもよい。）

申立理由（別）↑各人で考える。

- 一、裁判の内容等々展向に因する裁判。
- 二、一〇〇の警備の仕方の裁判、裁判官に判ることには
- 三、自らのテーマとの関連。へホンプク✓する。

女子者の

註① 民法 59 条 訴訟の目的に共通の条件反る者は共同訴訟参加できる。

64 条 訴訟の結果に利害関係ある者は補助参加できる。

68 条 相手の異議がなくても即時報告（期間中は有効）

② 申立書は正、副二通を作成し、訴訟受付の滞りで提出、

何と、申立には金がかかる。（印紙、切手で納入）

（一部を添付して） 参考 200 円？ 60 円？ 860 円？

補正（命令後に追加可能） 忌避 300 円？ 600 円？

③ 申立の却下に對しては、まず「即時報告をする」と口頭での、のちに文書を提出することの認められている。（有効）

四、戸籍簿下付の裁判

7.25の集まりに参加される方々へ

'86. 7.25

松下昇

ご連絡ありとご返りました。本来、私としては、'69年以降の大学
斗争の過程で知合された教員（および学生、院生、職員）のできる限り
多くの人々の参加し、継続的な討論の場をつくらせていくこととを以てし
ており、今回の7.25の集まりも、その一環としてとらえております。

そのような場〈^でに向けて〉私の提起した方向性は

＊、あなたにとって〈 〉大学斗争は何であったか、振り返って下さるか？

であり、それに対応して

＊、このように向い、答える構造自体が、状況からどのような力とつながり

ると感じ、対応して下さるか？ です。

（できれば記録し、公開する。）

前記の二つの項目を媒介に討論をけしめることになり、共通のテーマ
や差異の必然性がよりよく視えてくれればよいのですが、私の位置から
先にもう一度みると、

＊、については、'84.12.17東京高裁法廷での行爲（のち監置～起訴）
の瞬間に、「継続する〈神戸〉大学斗争勝利！」と叫んだ意味を
今も生きようとしております。

（「^が〈^を〉」場合の）

＊、については、このように向い～答への契機を、あえて裁判

そこからけし出す現在の生き様に即してみつけた、と考えています。

とくに、生活、職業、学への'69年性からの視線

全政治情勢の中での現在の自分の〈^たたか^う方^の〉との向き合い

を大切にしよう。

なお、継続する討論の場の設定のために、本年8月26日岡山地裁判決
（坂本氏の公務員労働組合明渡請求）直後に予想される強制執行までに、

坂本夫妻と組合の討論が必要になることを申し立てます。

6月22日には徳島で十日書店を運営する

山本さとしさんとここで討論しました。

② 7.25に河村さんからうけた陳述書(日付は8.14としてあります)。中1次案ではが、7.3うち合せをへての中2次案ではが)と拝見しました。私の印象をのべますと、

1. 控訴審における三証人の証言内容を基軸にして見解をのべておられ、それはそれとして十分に貴重なものと考えますが、その具体的な展開は、代理人弁護士がやって下さるでしょう。むしろ、河村さんとしては、代理人弁護士が論点から消れていくテーマについて強調して行くかよと判断します。

2. 強調すべき点を大別すると、次の二つになるでしょう。

(i) 控訴審のテーマになり、陳述書の中でも示されてくるが、代理人弁護士が、またその意味を十分に把握していかねば。

(ii) 控訴審のテーマとちがう、陳述書の中でも示されてくるが、学際争い〜知命の本質の把握に不可欠なもの。

3. 前記(i)については、^(特に) 岡本がキューバ行きを筆動した具体的な経過〜背景〜意味(この段階で知命よりは、隔離と考えていた政治性)をお、竹中さんの報告書が、出席するかのせにより十分に討議の対象となるよう切望してします。かのせの河村公判への其斗の仕方は、たんに、裁判の展開に役立ったかという以上に、自己史と情況の総括〜止揚の深さから発してします。

前記(ii)については、^(特に) 知命者が理事長〜学長の水準のせならず、教授会の多数派によって支えられ、かつ基本的な人間の論理を之完全に圧殺する形でおこされた経過を、本人尋問で明らかにしていただくたく思います。五月三日の会通信才24号をここに添付しますから、代理人弁護士にも回覧して下さい。(書証として提出可能)

さらに、7.25集会でテーマとなった(というが、総括の位相として、それそれの人が感じた)大学争いの永続性について河村さんの言葉で語って下されば大変うれしく思うのですが---

また、私が6.30日の午報でのべた諸君について

追記
8.14から判までには本人尋問の際にきいてほしい項目を作成して送ると代理人弁護士に提案して下さいます。

②

7.25に河村さんは、「坂本さんが、秋子さんや子ど^らもたちをRBへ入らせるには、クビ^ををかけて^て去^らせかけて討論に参加する。」という趣旨のことを語られました。(満田さんも、坂本さんたちのテーマをより正確に把握し、批判すべき点は批判してくるべきだし、とのべられ、岡東学院大生協の元学生の人々、河村さんへ行くべき自分もいく、と意志表示されておりました。)

とすると、RBへきてもらって討論するという場合、
(秋子さんたちに)

(1) 坂本さんが、そのような状態をつくらせておいてから、河村さんに参加してもらう。

(2) 河村さんが、秋子さんたちを説得してRBへきてもらい、そこで話しする。

のいずれでしようか? それぞれの内部に、又、ニュースや構造のちがいはあるでしようか... (根本的には、家族の把握の仕方によって)

私のかかり方との関連でいうと、河村さんのお考えか

(1)の場合、河村さんから坂本さんにあてて、文書でその提起をして下さるのが最もよいと考えます。私からの伝言という形は、これまでの経過〜テーマを縮小しかねると感じるので...

(2)の場合、私も河村さんと一緒に、秋子さんを説得しに行きます。かりに説得が拒否されても、河村さんが岡山へこられて、ご自分の考えを対象化されることは、7.25集会のテーマをより深化させ持続させることになるでしょう。参加される方々の交通費は負担します。

(なお、(1) ^(を提起する) 場合は、^{*}坂本さんが拒否する可能性が大であり、そうするとそれぞれの当事者の考えが固定したまま、RBに対する国家からの排除を最悪のカタチでいうことになると思います。この事態を何とか突破するため、(2)の方法をとっていただくが、さらによいフォローを提起して下さると、ありがたく思います。) *全く予兆というのでなく、十分に意味はありますが... どうぞ

坂本さんのこれまでの提起の総体をいまとおにしようか?

この件に限らず、私の方から坂本さんへ連絡する事は今のところありません。

河村隆二様

7.25には、いろいろの方々の意見（まだ、序と
いう段階ではあつたほうが）を多くいただき、大変
参考になり、今後の試みへの示唆をうけとりました。

この日の中心的テーマ（大学競争の現在の把握）に
ついて、反響が大きいため、次の集会の企画案とし
ていくつもりです。ここでは緊急のテーマである

① 河村本人意向について（竹中報告書の応用）

② 8月下旬の岡山での秋子先生を合取討論について

について、先づの考えを話し、7.31弁理士事務所
の都合には参加する竹中先生に話します。

どうか、よろしくご検討下さるようお願いいたします。

86.7.30

松下 昇

(数量とも一回のハズレでは終了しな〜と思います。)

① 本人尋問でテーマにしてきたこと

0. 一審判決が大学の自治、知分の正当性を把握して〜の批判。

1. 緊急知置要綱が全国的にみても極めて悪質な役割をもちこと。

しかも、かつての〈左翼〉岡本正が学内の勢力争いの拾収策として、かつ自らも秩序総体に利用されて、これをうち出して来た意味。

2. 労働協約の内容からの透視でもみる解雇処分。(河村氏の組合における活動の成果にもかかわらず、組合執行部の支援等がほとんどなかった理由)

3. 解雇処分を審議する教授会の実態(五月三日の会通信・才24号の記録を応用する。)

4. 河村氏の授業ボイコットは、^{思想良心}の自由として把握とれるべきであり、 岡本、被処分学生、河村氏のそれぞれが、(行君の死と厚風景とする)人間的共感の深部において相互に理解、許容し合えるはずであるにもかかわらず、政治的存続の中で学生処分がおこなわれてしまふことへの抗議の意思表示であったはずである。

従って ① 処分者側代理人の〜のように、全共斗支援の行動ではなく、

② ボイコットの対象も全ての授業ではなく、II部の全てやI部の物理実験が除外され(河村氏の授業体験から)。

③ S.48.1.29のボイコット宣言は2.1/留保、2.2/には4月以降のカリキュラムに従う、という変化をもつ。

④ 実際の影響はほとんどなかった。(全国的にみて、より長期的のボイコットで処分は45%多い)

5. にもかかわらず、これを逆用して、河村氏の思想的屈服を迫ったり、キューバへ隔離しようとした岡本らの策動(竹中報告書を応用)こそが批判されねばならない。

(6. その他、審理過程でテーマになった事項に関しては、代理人弁護士から専門家との相対が〜として、そこから読み出す河村氏のテーマが、このメモの他にも多くあると思うので、うち合せの際に提起して下さい。)

例) 京大、折田浩三、三ヶ月

RB302を含む場での

(b) 坂本牧子さんとの話し合いの経緯について

0. 疑問や批判を遠慮なく出し合うことで高次の討論が可能になりました。

1. 7.31 うち合せ会議に参加した竹中さんと媒介しての私の提起に
応じて、8月下旬に牧子さんに会いに来て下さるとの意思表示を
して下さり、ありがとうございます。

2. 7.25 東京の被知合者会議の際に、自分も参加したい、と発言さ
せていた元・学生(現・関東学院大生協)の方を含め、岡山へこらゆる
のを歓迎します。(岡山を含む)斗争、とくに今年の3.24大陪
で勾留された根本の保釈金のために準備しておいたものの、
残り、その3万円を旅費の一部としてお渡します。人数や日数
の増加に対応して、さらに追加可能です。) 但し、岡山行を強制している
わけではありません。判断は全く自由です。

3. 岡山へは、ご都合のよい日を之らくできていた上でよいのですが、
牧子さんへは連絡しておかれた方がよいと思います。夏休みのため、
子ども連立で親せき等へ行く可能性もありますから。

Tel. 0862-54-2197 (報告をしようか)

坂本さんへは岡山へこらわれてから連絡がつかずますが、文書による
よいと思います。 (学友会がRB302へ行けば)

4. 日程が8.13~14に東京へ行く竹中さんに伝えているのは
好都合です。裁判の日付としては、8.26 生保に関する裁判の判決
(牧子さんの「別居」がテーマの中心)
8.28 RB 明確な判決(強制執行)
関連する

5. 知は基本的に、いつでも参加可能ですが、本質的には、牧子さんが
私の参加を請求して下さることが最もよいと思います。

6. 竹中さんは、独自に河村さんと同行し、牧子さん達とも話を
する意志をもっているので、5の実現までは、私の提起したテーマ群を
かへ委託します。 (RBから根拠を明示して)

7. もちろん、事態の展開により、任意の人が私の参加をよびか
ければいつでも出かけるつもりです。

で
さ
れ
は、
8-13
5
14
に

(この紙片(a)、(b)は8.13うち合せ会議に参加する竹中さんに託します。)
(c) 8.14 公判

01-14 EKC

① 坂本秋子さんのテーマに関する私の考之(序)

1. 河村さんは、坂本守信氏の次の態度、すなわち

① RB302に外部の人たちと共に一晩中入り込み、秋子さんや子どもたちを別居させる契機をつくり、黙認した。

①' これに対する河村氏の批判に対しては、秋子さん側の責任が返るとしてゐる。(河村氏及び牛嶋氏?)

② 此の君の誕生にかかわっているとすれば秋子さんの別居の理由は決定的である。

②' これに関して坂本氏が明確な態度表明をしてゐる。

③ 本来、坂本氏をもっともよく支え、「いつかホロホロに帰って来て受け入れるつもりがある」秋子さんと共にRBを強制執行から守ることをせず²に放置してゐる。

とこのように批判を集中しておられると思いますが、より正確にいへば、かつ補充して下されば³討論に役立ちます。

2. 前記の各項に対する私の考之は、直接、RB302を含む場でのべたいと思ひますが、基本的にいえることは、

α. 坂本氏のテーマとみえるものを媒介して、同じ比重で自分のいふ、訂正的なかきり⁴の総括に向かひてゐる。

β. 大学斗争とよばれる世界的な激動は、たんに大学内部の矛盾のせいで、各主体の表現の原理、生活の仕方、国家との持続的知識について根底的な変革と、その開示～共同的な追求を必然化させてゐる。

γ. 前記二項の追求は、自己閉鎖的にできなく、たえず誤りうる可能性の検証の回路をつくりつつ、公開でなされるべきである。とこの三項目です。

また、河村氏に対する坂本氏の反論は、秋子さんや子どもたちのいる前で行われる時のいふ意味をもつ、と考へてゐることも付記します。

① ~ ③ の註

一言でいうと、私は河村さんに、今すぐ岡山へ来てほしい、とたゞ考えてゐるわけではありません。私自身の不安をのべて、

1. 秋子さん、塚本さん、その他の人々の都合が河村さんと合うかどうか、の他に (20~26は大学祭の合宿があるかもしれませんが)

2. それぞれの出会いの必然性が一致するかどうか不安をのべています。

3. 岡山で、河村さんの会える人に、河村さんのお考えを伝え、同時にご自分の考え方を、より正確な事実経過をふまえて、伝えかえしていただくこと、しかも 8.26、8.28 とこの判決の直前の時期にそうされることには大きい意味があると思いますが...

4. 河村さんに申し出ていうと、かりに私が提起しなくても、その水準で、無駄に居ることの可能性を含めて出かけてみよう、とされるのが一番よいと思うのです。

5. 塚本さんに申し出ていうと、異質とみえる考えや人間性にもっと交差して、自分で正しいと思ふに思ふに思ふ考えを相手にとどく言葉が、いっしょに話し合う態度が今必要です。その役割を私がしてもよいのですが、これまで長い共闘の過程(基本的な構造としての大学斗争の水準で)からのこぼれがあるため、~~互~~ 互にかかれは異質とみえにくく、という問題があります。これは私の責任でもありますが...

6. もう一つ、私の位置からは、河村さんの位置を ^{自分と} 同一とみているわけではなく、あくまでも、その意味で岡山行きを提起もしていることを付記します。(むしろ河村⇔塚本間の距離よりも遠い所もあり)

7. 以上をよく考慮下され、ご判断のたゞだすを、岡山へ行くかどうかにかかれます。私の提起の本質的な核心は生きることであり、大へんうれしく思います。

私が今すぐに行かなくても不安の理由です。

河村 隆二様

1. 八月には、秋子さんへの Tel. 等を言わせて、うさうさとこころを
うたひきあひがとうこころをうたひました。その後経過をうたひると、
宿舎明渡に関する公判の判決期日は、8.28に予定されていた
のですが、代理人弁護士と裁判所の交渉で延期とし、次回は
未定です。(口頭弁論が再開される可能性も0ではないかもしれません。)

また、生活保護の支給方法変更に関する公判の判決期日を
8月26日から9月30日に延期とさせていただきます。

この延期によって獲得された時間を、何とかして、これまでの
問題の展周に活用したい、と考えております。9月末までに
RB302へ、問題集の把握のためにふんで下いることも検討して
みたいと思っております。

2. 河村公判の判決前に、書証等についての説明書を出すため
うち合せが9.12に予定されているようですが、

五月三日の会通信才24号に関する、どうなっているか？
念のため、コピー(原本は、あと一冊を渡すのみです。)を同封します
ので活用して下されば幸いです。

その他、これまで、うち合せ会議のためにさし上りた方のレシートの
内容を生かして下されることを願っております。

~'86.9.12~

松下 昇

追記 時の会通信才<15>号2冊(河村さんと山浦さんと)を同封
します。

~~ハヤタ+V.V. | セット (と手たてをけ、こうです。追加可能)を~~

~~うち合せ会議の参加者、竹中さんに託します。~~

~~この手紙と共に~~

竹中さんに託す予定でしたが、今回は参加が困難なため、弁護士事務所に
送らせていただきます。

裁判官に酒パック投げる

元神戸大講師、判決延期に怒り

大阪高裁



京都大教養部の教室を占拠し、国から明け渡しを求められて訴訟中の神戸市灘区赤松町一の一、松下昇・元神戸大講師室の二写真(懲戒免職)が、二十四日、大阪高裁民事六部(石川恭裁判長)の法廷で裁判官席に紙パック入りの清酒を投げつけ、二十日間の監置処分を受けて天満署に拘留された。

松下元講師は五十一年以降、京都大教養部で講師として勤務し、清酒が裁判官の机をめぐる。料室に寝泊まりして自主的に判決を拒否した。

ナールを続けており、昨年一月、京都地裁で明け渡しを命じた判決が出たが、控訴していた。

石川裁判長は、松下元講師の拘束と傍聴席の支援者約二十人の退廷を命じたが、支援者が抵抗し騒いだため、同日夕開いた制裁裁判で監置としては最長の二十日間を決定した。この際、傍聴席の自称根本健司(住所、職業不明)が延更の足をけるなど暴行、公務執行妨害の現行犯で逮捕された。

松下元講師は、五十九年十一月、東京高裁で判決文をひたたくって監置処分を受けたほか、四十九年には岡山地裁で裁判官に卵を投げつけた。

少くとも一印は読り

山浦元様

時の櫻通信第14号がまたのをお送りします。
15~16ページは河村公判に、やや原則論的批判を
お送りしたものです。何かのあたりにお役に立てれば
幸いです。河村にもお送りします。
88.2.7 松下昇

山浦元様

9.19日のお手紙と貴書をかいま読みました。
10.16公判には年々申す人が行くつよみがあります。
時の櫻通信第14号、15号、16号、17号、18号、19号、
20号、21号、22号、23号、24号、25号、26号、27号、
28号、29号、30号、31号、32号、33号、34号、35号、
36号、37号、38号、39号、40号、41号、42号、43号、
44号、45号、46号、47号、48号、49号、50号、51号、
52号、53号、54号、55号、56号、57号、58号、59号、
60号、61号、62号、63号、64号、65号、66号、67号、
68号、69号、70号、71号、72号、73号、74号、75号、
76号、77号、78号、79号、80号、81号、82号、83号、
84号、85号、86号、87号、88号、89号、90号、91号、
92号、93号、94号、95号、96号、97号、98号、99号、
100号、101号、102号、103号、104号、105号、106号、
107号、108号、109号、110号、111号、112号、113号、
114号、115号、116号、117号、118号、119号、120号、
121号、122号、123号、124号、125号、126号、127号、
128号、129号、130号、131号、132号、133号、134号、
135号、136号、137号、138号、139号、140号、141号、
142号、143号、144号、145号、146号、147号、148号、
149号、150号、151号、152号、153号、154号、155号、
156号、157号、158号、159号、160号、161号、162号、
163号、164号、165号、166号、167号、168号、169号、
170号、171号、172号、173号、174号、175号、176号、
177号、178号、179号、180号、181号、182号、183号、
184号、185号、186号、187号、188号、189号、190号、
191号、192号、193号、194号、195号、196号、197号、
198号、199号、200号、201号、202号、203号、204号、
205号、206号、207号、208号、209号、210号、211号、
212号、213号、214号、215号、216号、217号、218号、
219号、220号、221号、222号、223号、224号、225号、
226号、227号、228号、229号、230号、231号、232号、
233号、234号、235号、236号、237号、238号、239号、
240号、241号、242号、243号、244号、245号、246号、
247号、248号、249号、250号、251号、252号、253号、
254号、255号、256号、257号、258号、259号、260号、
261号、262号、263号、264号、265号、266号、267号、
268号、269号、270号、271号、272号、273号、274号、
275号、276号、277号、278号、279号、280号、281号、
282号、283号、284号、285号、286号、287号、288号、
289号、290号、291号、292号、293号、294号、295号、
296号、297号、298号、299号、300号、301号、302号、
303号、304号、305号、306号、307号、308号、309号、
310号、311号、312号、313号、314号、315号、316号、
317号、318号、319号、320号、321号、322号、323号、
324号、325号、326号、327号、328号、329号、330号、
331号、332号、333号、334号、335号、336号、337号、
338号、339号、340号、341号、342号、343号、344号、
345号、346号、347号、348号、349号、350号、351号、
352号、353号、354号、355号、356号、357号、358号、
359号、360号、361号、362号、363号、364号、365号、
366号、367号、368号、369号、370号、371号、372号、
373号、374号、375号、376号、377号、378号、379号、
380号、381号、382号、383号、384号、385号、386号、
387号、388号、389号、390号、391号、392号、393号、
394号、395号、396号、397号、398号、399号、400号、
401号、402号、403号、404号、405号、406号、407号、
408号、409号、410号、411号、412号、413号、414号、
415号、416号、417号、418号、419号、420号、421号、
422号、423号、424号、425号、426号、427号、428号、
429号、430号、431号、432号、433号、434号、435号、
436号、437号、438号、439号、440号、441号、442号、
443号、444号、445号、446号、447号、448号、449号、
450号、451号、452号、453号、454号、455号、456号、
457号、458号、459号、460号、461号、462号、463号、
464号、465号、466号、467号、468号、469号、470号、
471号、472号、473号、474号、475号、476号、477号、
478号、479号、480号、481号、482号、483号、484号、
485号、486号、487号、488号、489号、490号、491号、
492号、493号、494号、495号、496号、497号、498号、
499号、500号、501号、502号、503号、504号、505号、
506号、507号、508号、509号、510号、511号、512号、
513号、514号、515号、516号、517号、518号、519号、
520号、521号、522号、523号、524号、525号、526号、
527号、528号、529号、530号、531号、532号、533号、
534号、535号、536号、537号、538号、539号、540号、
541号、542号、543号、544号、545号、546号、547号、
548号、549号、550号、551号、552号、553号、554号、
555号、556号、557号、558号、559号、560号、561号、
562号、563号、564号、565号、566号、567号、568号、
569号、570号、571号、572号、573号、574号、575号、
576号、577号、578号、579号、580号、581号、582号、
583号、584号、585号、586号、587号、588号、589号、
590号、591号、592号、593号、594号、595号、596号、
597号、598号、599号、600号、601号、602号、603号、
604号、605号、606号、607号、608号、609号、610号、
611号、612号、613号、614号、615号、616号、617号、
618号、619号、620号、621号、622号、623号、624号、
625号、626号、627号、628号、629号、630号、631号、
632号、633号、634号、635号、636号、637号、638号、
639号、640号、641号、642号、643号、644号、645号、
646号、647号、648号、649号、650号、651号、652号、
653号、654号、655号、656号、657号、658号、659号、
660号、661号、662号、663号、664号、665号、666号、
667号、668号、669号、670号、671号、672号、673号、
674号、675号、676号、677号、678号、679号、680号、
681号、682号、683号、684号、685号、686号、687号、
688号、689号、690号、691号、692号、693号、694号、
695号、696号、697号、698号、699号、700号、701号、
702号、703号、704号、705号、706号、707号、708号、
709号、710号、711号、712号、713号、714号、715号、
716号、717号、718号、719号、720号、721号、722号、
723号、724号、725号、726号、727号、728号、729号、
730号、731号、732号、733号、734号、735号、736号、
737号、738号、739号、740号、741号、742号、743号、
744号、745号、746号、747号、748号、749号、750号、
751号、752号、753号、754号、755号、756号、757号、
758号、759号、760号、761号、762号、763号、764号、
765号、766号、767号、768号、769号、770号、771号、
772号、773号、774号、775号、776号、777号、778号、
779号、780号、781号、782号、783号、784号、785号、
786号、787号、788号、789号、790号、791号、792号、
793号、794号、795号、796号、797号、798号、799号、
800号、801号、802号、803号、804号、805号、806号、
807号、808号、809号、810号、811号、812号、813号、
814号、815号、816号、817号、818号、819号、820号、
821号、822号、823号、824号、825号、826号、827号、
828号、829号、830号、831号、832号、833号、834号、
835号、836号、837号、838号、839号、840号、841号、
842号、843号、844号、845号、846号、847号、848号、
849号、850号、851号、852号、853号、854号、855号、
856号、857号、858号、859号、860号、861号、862号、
863号、864号、865号、866号、867号、868号、869号、
870号、871号、872号、873号、874号、875号、876号、
877号、878号、879号、880号、881号、882号、883号、
884号、885号、886号、887号、888号、889号、890号、
891号、892号、893号、894号、895号、896号、897号、
898号、899号、900号、901号、902号、903号、904号、
905号、906号、907号、908号、909号、910号、911号、
912号、913号、914号、915号、916号、917号、918号、
919号、920号、921号、922号、923号、924号、925号、
926号、927号、928号、929号、930号、931号、932号、
933号、934号、935号、936号、937号、938号、939号、
940号、941号、942号、943号、944号、945号、946号、
947号、948号、949号、950号、951号、952号、953号、
954号、955号、956号、957号、958号、959号、960号、
961号、962号、963号、964号、965号、966号、967号、
968号、969号、970号、971号、972号、973号、974号、
975号、976号、977号、978号、979号、980号、981号、
982号、983号、984号、985号、986号、987号、988号、
989号、990号、991号、992号、993号、994号、995号、
996号、997号、998号、999号、1000号、1001号、1002号、
1003号、1004号、1005号、1006号、1007号、1008号、
1009号、1010号、1011号、1012号、1013号、1014号、
1015号、1016号、1017号、1018号、1019号、1020号、
1021号、1022号、1023号、1024号、1025号、1026号、
1027号、1028号、1029号、1030号、1031号、1032号、
1033号、1034号、1035号、1036号、1037号、1038号、
1039号、1040号、1041号、1042号、1043号、1044号、
1045号、1046号、1047号、1048号、1049号、1050号、
1051号、1052号、1053号、1054号、1055号、1056号、
1057号、1058号、1059号、1060号、1061号、1062号、
1063号、1064号、1065号、1066号、1067号、1068号、
1069号、1070号、1071号、1072号、1073号、1074号、
1075号、1076号、1077号、1078号、1079号、1080号、
1081号、1082号、1083号、1084号、1085号、1086号、
1087号、1088号、1089号、1090号、1091号、1092号、
1093号、1094号、1095号、1096号、1097号、1098号、
1099号、1100号、1101号、1102号、1103号、1104号、
1105号、1106号、1107号、1108号、1109号、1110号、
1111号、1112号、1113号、1114号、1115号、1116号、
1117号、1118号、1119号、1120号、1121号、1122号、
1123号、1124号、1125号、1126号、1127号、1128号、
1129号、1130号、1131号、1132号、1133号、1134号、
1135号、1136号、1137号、1138号、1139号、1140号、
1141号、1142号、1143号、1144号、1145号、1146号、
1147号、1148号、1149号、1150号、1151号、1152号、
1153号、1154号、1155号、1156号、1157号、1158号、
1159号、1160号、1161号、1162号、1163号、1164号、
1165号、1166号、1167号、1168号、1169号、1170号、
1171号、1172号、1173号、1174号、1175号、1176号、
1177号、1178号、1179号、1180号、1181号、1182号、
1183号、1184号、1185号、1186号、1187号、1188号、
1189号、1190号、1191号、1192号、1193号、1194号、
1195号、1196号、1197号、1198号、1199号、1200号、
1201号、1202号、1203号、1204号、1205号、1206号、
1207号、1208号、1209号、1210号、1211号、1212号、
1213号、1214号、1215号、1216号、1217号、1218号、
1219号、1220号、1221号、1222号、1223号、1224号、
1225号、1226号、1227号、1228号、1229号、1230号、
1231号、1232号、1233号、1234号、1235号、1236号、
1237号、1238号、1239号、1240号、1241号、1242号、
1243号、1244号、1245号、1246号、1247号、1248号、
1249号、1250号、1251号、1252号、1253号、1254号、
1255号、1256号、1257号、1258号、1259号、1260号、
1261号、1262号、1263号、1264号、1265号、1266号、
1267号、1268号、1269号、1270号、1271号、1272号、
1273号、1274号、1275号、1276号、1277号、1278号、
1279号、1280号、1281号、1282号、1283号、1284号、
1285号、1286号、1287号、1288号、1289号、1290号、
1291号、1292号、1293号、1294号、1295号、1296号、
1297号、1298号、1299号、1300号、1301号、1302号、
1303号、1304号、1305号、1306号、1307号、1308号、
1309号、1310号、1311号、1312号、1313号、1314号、
1315号、1316号、1317号、1318号、1319号、1320号、
1321号、1322号、1323号、1324号、1325号、1326号、
1327号、1328号、1329号、1330号、1331号、1332号、
1333号、1334号、1335号、1336号、1337号、1338号、
1339号、1340号、1341号、1342号、1343号、1344号、
1345号、1346号、1347号、1348号、1349号、1350号、
1351号、1352号、1353号、1354号、1355号、1356号、
1357号、1358号、1359号、1360号、1361号、1362号、
1363号、1364号、1365号、1366号、1367号、1368号、
1369号、1370号、1371号、1372号、1373号、1374号、
1375号、1376号、1377号、1378号、1379号、1380号、
1381号、1382号、1383号、1384号、1385号、1386号、
1387号、1388号、1389号、1390号、1391号、1392号、
1393号、1394号、1395号、1396号、1397号、1398号、
1399号、1400号、1401号、1402号、1403号、1404号、
1405号、1406号、1407号、1408号、1409号、1410号、
1411号、1412号、1413号、1414号、1415号、1416号、
1417号、1418号、1419号、1420号、1421号、1422号、
1423号、1424号、1425号、1426号、1427号、1428号、
1429号、1430号、1431号、1432号、1433号、1434号、
1435号、1436号、1437号、1438号、1439号、1440号、
1441号、1442号、1443号、1444号、1445号、1446号、
1447号、1448号、1449号、1450号、1451号、1452号、
1453号、1454号、1455号、1456号、1457号、1458号、
1459号、1460号、1461号、1462号、1463号、1464号、
1465号、1466号、1467号、1468号、1469号、1470号、
1471号、1472号、1473号、1474号、1475号、1476号、
1477号、1478号、1479号、1480号、1481号、1482号、
1483号、1484号、1485号、1486号、1487号、1488号、
1489号、1490号、1491号、1492号、1493号、1494号、
1495号、1496号、1497号、1498号、1499号、1500号、
1501号、1502号、1503号、1504号、1505号、1506号、
1507号、1508号、1509号、1510号、1511号、1512号、
1513号、1514号、1515号、1516号、1517号、1518号、
1519号、1520号、1521号、1522号、1523号、1524号、
1525号、1526号、1527号、1528号、1529号、1530号、
1531号、1532号、1533号、1534号、1535号、1536号、
1537号、1538号、1539号、1540号、1541号、1542号、
1543号、1544号、1545号、1546号、1547号、1548号、
1549号、1550号、1551号、1552号、1553号、1554号、
1555号、1556号、1557号、1558号、1559号、1560号、
1561号、1562号、1563号、1564号、1565号、1566号、
1567号、1568号、1569号、1570号、1571号、1572号、
1573号、1574号、1575号、1576号、1577号、1578号、
1579号、1580号、1581号、1582号、1583号、1584号、
1585号、1586号、1587号、1588号、1589号、1590号、
1591号、1592号、1593号、1594号、1595号、1596号、
1597号、1598号、1599号、1600号、1601号、1602号、
1603号、1604号、1605号、1606号、1607号、1608号、
1609号、1610号、1611号、1612号、1613号、1614号、
1615号、1616号、1617号、1618号、1619号、1620号、
1621号、1622号、1623号、1624号、1625号、1626号、
1627号、1628号、1629号、1630号、1631号、1632号、
1633号、1634号、1635号、1636号、1637号、1638号、
1639号、1640号、1641号、1642号、1643号、1644号、
1645号、1646号、1647号、1648号、1649号、1650号、
1651号、1652号、1653号、1654号、1655号、1656号、
1657号、1658号、1659号、1660号、1661号、1662号、
1663号、1664号、1665号、1666号、1667号、1668号、
1669号、1670号、1671号、1672号、1673号、1674号、
1675号、1676号、1677号、1678号、1679号、1680号、
1681号、1682号、1683号、1684号、1685号、1686号、
1687号、1688号、1689号、1690号、1691号、1692号、
1693号、1694号、1695号、1696号、1697号、1698号、
1699号、1700号、1701号、1702号、1703号、1704号、
1705号、1706号、1707号、1708号、1709号、1710号、
1711号、1712号、1713号、1714号、1715号、1716号、
1717号、1718号、1719号、1720号、1721号、1722号、
1723号、1724号、1725号、1726号、1727号、1728号、
1729号、1730号、1731号、1732号、1733号、1734号、
1735号、1736号、1737号、1738号、1739号、1740号、
1741号、1742号、1743号、1744号、1745号、1746号、
1747号、1748号、1749号、1750号、1751号、1752号、
1753号、1754号、1755号、1756号、1757号、1758号、
1759号、1760号、1761号、1762号、1763号、1764号、
1765号、1766号、1767号、1768号、1769号、1770号、
1771号、1772号、1773号、1774号、1775号、1776号、
1777号、1778号、1779号、1780号、1781号、1782号、
1783号、1784号、1785号、1786号、1787号、1788号、
1789号、1790号、1791号、1792号、1793号、1794号、
1795号、1796号、1797号、1798号、1799号、1800号、
1801号、1802号、1803号、1804号、1805号、1806号、
1807号、1808号、1809号、1810号、1811号、1812号、
1813号、1814号、1815号、1816号、1817号、1818号、
1819号、1820号、1821号、1822号、1823号、1824号、
1825号、1826号、1827号、1828号、1829号、1830号、
1831号、1832号、1833号、1834号、1835号、1836号、
1837号、1838号、1839号、1840号、1841号、1842号、
1843号、1844号、1845号、1846号、1847号、1848号、
1849号、1850号、1851号、1852号、1853号、1854号、
1855号、1856号、1857号、1858号、1859号、1860号、
1861号、1862号、1863号、1864号、1865号、1866号、
1867号、1868号、1869号、1870号、1871号、1872号、
1873号、1874号、1875号、1876号、1877号、1878号、
1879号、1880号、1881号、1882号、1883号、1884号、
1885号、1886号、1887号、1888号、1889号、1890号、
1891号、1892号、1893号、1894号、1895号、1896号、
1897号、1898号、1899号、1900号、1901号、1902号、
1903号、1904号、1905号、1906号、1907号、1908号、
1909号、1910号、1911号、1912号、1913号、1914号、
1915号、1916号、1917号、1918号、1919号、1920号、
1921号、1

山浦 元 様

10月19日付のお手紙をいただきました。

河村公判の判決内容は予測通りのもので、その
公判を媒介して、ごまごまの人、とゆ山々山浦さんにお会
ひできて、より店へテーマに目を向けることができたのは
喜んだことが、本々へ成果だと喜んでおります。

さて、お申し越しの件ですが、時の際通信の号数の
つけ方は、やはり原則的で、

第<6>号は、第9 (六号で取替した) 息子に取
りかき、第10号は、第11 (六号で取替した) 息子に取

りかき、第12号は、13日印刷の雑誌の11号と第10号の
ままある、という説明を述べたお話をいたしました。
とさせていただきます。
10月16日地

(もしも、第<7>号、第<12>号の層では、ふたついま
すが---) この層の11号については、当面、雑誌にする
つもりは無く、第9のとおりを語る方に、その場で回す
というようにいたします。11号、11号 おいて下いる機会
がある、と第10号に書いて下す。(というより、<>記事の現場)

先生、自然科学論に關して、10月16日に貴會で意見を
 交換いたしました。今日は、(東海大学新聞にのせられた?)
 文章の2ページを送り下さり、謝意を述べさせていただきます。
 知の非専門家としては、自然学の方法を支
 援している研究や文章の對象にしている方法などは、
 素直に大層なことに感じています。とくに、
 大学卒業の中で感じてきました。いままでと違って、
 そのような直感的な表現が、具体的に生活の場面を
 入射して、(イチャだ、生活のたぐいに目を向ける)
 といった構造自体を、時間と格闘する、研究や文章の好
 交したところの重要性です。(即、これと、生活の場
 面との時間のくくりに、行かぬ決定的に、おもしろい)。
 知の表現の現場で、共通のテーマとして、
 打ちよせたい。と、統一した、具体的に検討する
 場を、くくろうとして、日々です。東京の河野公利や、管内に
 在る、同領域建築設計研究会への参加も、このように戦略的
 への応用です。これから先、折にふれてご連絡します。あ
 りさうございます。'86.10.24 松下 昇



海水市



太陽エネルギーの活用... 回転可能... 太陽光線... 海水市

本学は国際交流に力を入れている... 研究のレベルアップ... 打ち出した。これは、西欧圏の大学を...

が、さらにこれを推進し進めよう... 国際交流に新しい局面を打ち出した。これは、西欧圏の大学を...

「ナード」を個性を唯一の武器として... 学生時代に、自分の世界観が根柢から揺れ動いた経験が...

廻転椅子

たしか二年生の時、「理論物理学」... 山浦元先生が...

「先週は学生でもうけられたので... 今日は何に任せておきましょうか...」

「縮図が到る処にある。余談だが、中村先生は喜んで石けんを買ってくれた...」

「十一月十一、十二日の両日... 英国の研究者...」

自然科学原罪論によせて

山浦元

物理学の論議「を」... 物理学の論議「を」... 物理学の論議「を」...

人間の存在が前提... 物理学の論議「を」... 物理学の論議「を」...

物理学の論議「を」... 物理学の論議「を」... 物理学の論議「を」...

物理学の論議「を」... 物理学の論議「を」... 物理学の論議「を」...

物理学の論議「を」... 物理学の論議「を」... 物理学の論議「を」...

物理学の論議「を」... 物理学の論議「を」... 物理学の論議「を」...

物理学の論議「を」... 物理学の論議「を」... 物理学の論議「を」...

物理学の論議「を」... 物理学の論議「を」... 物理学の論議「を」...

物理学の論議「を」... 物理学の論議「を」... 物理学の論議「を」...

物理学の論議「を」... 物理学の論議「を」... 物理学の論議「を」...



物理学部物理学科助教(山浦元)

二審判決批判

1. 争点を平板化し、縮小してゐる。

(a) 授業ボイコット > α 周連、比重のあき方の
その後の反省～警察の圧力 形式性。

(b) 三次にわたる自宅研修命令の処理

その背後に及ぶ思想転向強要～コンピュータの隔離策動を
(周本の前後・前後) 審理してゐる。

自宅研修命令 > は、他に例を見ない。 < 悟識性 > に忌印。
三次にわたること < 全国 >

(c) 本訴の提起、原告の理由(契機)である、と一重た性を
放置。

2. 憲法十九条の処理、競争 > 責任をくぐり、検証工作
を、超管理社会への道をほら清めてゐる。

(思想表現の自由の許容度の秩序的、空洞化してゐる。)

3. 「労働者と業務命令」の一般論と、本件の教員としての
特性と都合のよゝ形式論理で労働協約 ~~を適用してゐる。~~
に適用してゐる。
(原告の判断に参加する)

4. 組合の全過程に及ぶ詳細な記録、証言と媒介せず、
一方的な秩序感覚で組合を追認してゐる。
(教室、教授会、各々メンバーの意識の押し～組合への加担)

組合

*1 上告理由としての憲法違反性

才11条 基本的人権 (ボイコットに至る人間関係の重さ)

才14条 法の下での平等

(国立大学では、ボイコット宣言後、約1月～数年を
組合員(34名)

才19条 思想及び良心の自由 (労基法才3条に因連)

才21条 表現の自由 (實際の行爲と潜在的可能性の混同)

才27条 勤労の権利及び義務 (解雇の追認)
^{教育権は公}

才32条 裁判を受ける権利 (争点の縮小、取り捨てる)
(本訴提起が実質的知合理由)

才39条 一事不再理 (三次にわたる自宅研修処分、解雇)
^{争点}

*2 憲法各条の争点、その根本理念

公平な思考～審理の原則

に違反してゐる、と一主張が不可欠である。

*3 一～三審制度の空洞化、その争点に批判的
突破してゐるか、一～三審の過程にかかわる争点争点
に用いれる。

山浦 元 様

10月27日のうち合せでお会合をなさるとのしめだに
おりました。誠にありがとうございます。
10月25日(?) 牧山各委員の専修に参照して
渡しておられること
10月27日(月)は、おとくまで大学の講義が終了、
時間的に急ぎでござい
ます。このために、山浦さんは、うち合せに出られず、この報告
があり、大変残念でした。(ただし、帰省後、お電話のうけとご報告す。
ありがとうございました。)

次回のうち合せは11月17日午後7時入ります。この日
月曜日から、大学の講義があるため、時間的に急ぎでござい
ます。お申し込みは、お申し込みを
お申し込みとして、11月13日、24日と祝祭(?)日が多く、講義
のペースや学生講習への申し込みを考へると、休講して
参加して下さいとお願いいたします。今、このお電話で
お申し込みの関連する事項についてお話しを致し、
山浦さんのお申し込み、何れも他のお申し込みは
お申し込みとしてお申し込みを
お申し込みを明確にするために、以下、番号を付けてお申し込みを

① 10.27 AURA 設計工房のうち合せの参加者は

河村さん、私、代田、宮内、海田、田宮の各氏でした。

(事務的質問、松田さん、河村さん以外、討論内容は耳にした
いたという方の発言はなしです。) 全体を私は確認して...

小林、宮田、その他招請状をうけた人々のうち欠席者が
あつた。欠席するに、おまひ、その理由について、全く連絡が
ありませんでした。河村公判のうち合せ、では、いつまでこのよう

状態の方で了解か? 公判が何回も経く時は、ともかくとして、
止告は、公判は周知です。極端にいうと、止告趣意書提出令
一片の棄却を申し却下の紙片が送られてくる、という段階
をへてすから、10.27のうち合せは、他のうち合せより、質、量
ともに大きく異なる意味をもつていたといえます。

とりわけ、山浦さんは、10.18判決の直後に、判決文コピーに
各人が集って添削して持ち寄り、止告書作り、それと並べる
べくも、たまたまに、応用した、と提案されたのですから、
10.27には欠席されるとしても、ご自分の考をどういった人と
通じててもとどけでいた、たたくべきではなかったというのか?
(ただし、これは必ずしも、山浦さんの怠慢? と取判しては、
てはなりません。参加者かた一人として、山浦さんの提案を
実行してご身からた
まごが厳然として指示されたのですから。)

② 前項の趣意は、10.27のうち合せの重要性と、各人の参加の振舞い等、そのほかの討議が不足していること、指摘がなされた。この項では、各人の山浦提案を正式に実行しようとしたが、内容的には各周してあります。

10.16には、私も、山浦提案は、意味がなると積極的に賛成しませんでした。そして、当日は、口頭で打ち合わせし、(判決文の20-21と24のあたりは10.27のうち合せの連日～うち合せと並行して、このことには)と、うちは「差別」しなうと、一言づつ、判決文の枠内では、その二の取柄によることの困難さ、というが、拒絶の怒り～由縁感からうち合せを記入するはにきくといわれています。

このうち合せは、山浦提案と対して、そのほかの人が、程度の差はあれ、感しられたのではないうち合せ(ただし、10.27のうち合せの場合には、原則に判決文を本人で書いていただくのは、何打と人と知た4人)と、うち合せは、会議がけいまりから、けいまりとよみけいまりと、うち合せ、このうち合せ、裁判にかつことは勿論、裁判をやめていくことも許さなうち合せ、と感しませんでした。しかし、これも、全面的に判断と、うち合せはありませぬ。

もっとも、先進的本人と、このうち合せは、裁判にかつし、うち合せの情観の重さの確認として、うち合せしたのです。))

③ さて、私は判決文の〈誤植〉はできずへとして、¹不²と³がして
 判決文批判をしたりと努めました。10.26は私は東京(女川)
 にいる母のところに宿泊したのですが、10〜毎小¹りに行かざる
 母の病¹を²一³ (死に直¹面²して³て⁴生⁵きて⁶いる⁷年⁸の⁹老¹⁰母¹¹の¹²養¹³
 育¹⁴の¹⁵症¹⁶瘵¹⁷と¹⁸母¹⁹と²⁰私²¹が²²それ²³を²⁴支²⁵え²⁶よう²⁷として [大知に¹ます]
 行くと¹支²え³の⁴重⁵い⁶で⁷いる⁸お⁹母¹⁰の¹¹た¹²ん¹³の¹⁴養¹⁵に¹⁶する¹⁷長期
 入院が10.25〜より、母に¹関²する³書⁴類⁵〜⁶印⁷の⁸等⁹を¹⁰妹¹¹が¹²も¹³ら
 いたために、¹と²して³母⁴の⁵住⁶居⁷へ⁸行⁹か¹⁰ざる¹¹を¹²得¹³ず¹⁴が¹⁵った。)

に¹関²する³雑⁴誌⁵が⁶あり、母¹の²実³妹⁴の⁵送⁶迎⁷を⁸お⁹世¹⁰代¹¹の¹²お¹³母¹⁴
 様¹⁵の¹⁶上¹⁷で¹⁸お¹⁹世²⁰代²¹に²²く²³ま²⁴う²⁵て、¹又²も³私⁴が⁵住⁶居⁷に⁸ま⁹す¹⁰て¹¹ま¹²す¹³て¹⁴
 が¹⁵いた¹⁶た¹⁷り¹⁸が¹⁹同²⁰期²¹の²²レ²³ビ²⁴ュ²⁵メ²⁶で²⁷した。 (明¹方²に)

翌10.27に、¹こ²れ³を⁴参⁵加⁶者⁷の⁸予⁹則¹⁰致¹¹(〜12〜)コ¹³ピ¹⁴ー¹⁵し¹⁶
 うと、¹新²宿³の⁴テ⁵レ⁶ポ⁷ー⁸ト⁹の¹⁰書¹¹類¹²部¹³へ¹⁴い¹⁵くと、¹1²枚³の⁴用⁵紙⁶す⁷ぎ⁸の⁹こ¹⁰
 ぴ¹¹ー¹²を¹³コ¹⁴ピ¹⁵ー¹⁶す。その¹後²、¹A²U³R⁴A⁵設⁶計⁷を⁸参⁹加¹⁰者¹¹が¹²用¹³紙¹⁴コ¹⁵ピ¹⁶ー¹⁷した。
 (つ¹ま²に³い⁴う⁵と、¹コ²ピ³ー⁴が⁵高⁶い⁷のは、¹テ²レ³ポ⁴ー⁵ト⁶と⁷我⁸判⁹紙¹⁰で、¹こ²れ³は
 何¹の²論³で⁴い⁵う)。また、¹職²場³で⁴〈⁵急⁶〉¹評²して³コ⁴ピ⁵ー⁶する⁷人⁸々⁹が¹⁰多¹¹く、
 出¹し²け³れ⁴て⁵大⁶に⁷喧⁸立⁹つ¹⁰として、¹海²外³判⁴決⁵文⁶も、¹た²し³か⁴明⁵方⁶の
 コ¹ピ²ー³を⁴用⁵い⁶て⁷い⁸る⁹は¹⁰す¹¹ぎ¹²です。——¹そ²の³イ⁴ミ⁵に⁶職⁷場⁸の⁹人¹⁰々¹¹に¹²関¹³連¹⁴性
 に¹関²心³し、¹討²論³の⁴契⁵機⁶に⁷い⁸て⁹い¹⁰く¹¹交¹²合¹³して¹⁴お¹⁵互¹⁶に¹⁷賛¹⁸成¹⁹す²⁰る²¹。

⑨ 田宮先生の「知のロジック」の大作については、科学者らしい(?)
 客観的態度で構成されましたが、第19条(思想及び良心の自由)
 について、「公共の福祉に反しない限り」という視点が、
 河村氏の授業レポートは評価した上で「何を?」(裁判所
 に限らず、〈自分〉も...)と示されました。

知の憲法前文や、憲法制定時の情勢感覚、すなわち、
 平等と尊重を必要とする社会の水準での公共の福祉性
 公権者主体で、法の手段に即して開始されたが、法的に成立して
 (治安維持法も) 不服従、ボイコットしうる権利を尊重
 との考えを、憲法制定委員も承知されていた。

⑩ その他、いくつかのテーマが議論されました。上巻については
 前記の甲に命ずるべきである旨が、次回(11/17(月))
 の予備会でも、河村氏が「憲法をもう一度勉強して、上巻
 趣意書等をよく読んで、全員で検討する」とに力をつけて、
 知を学ぶ参加したという事実、案の定に委員が足りません。
 終了後には、知の河村氏に代して知の〈点〉野々子
 交通費が、^(同様) 案内は、救済組織として、
 案内を準備して下さることに、実は知は、その中には、
 教員用しか案内はなかった。その点、野々子も、
 または部分的に案内を準備することは可能ですが、今回もやはり

宮内 — 河野と比べ、建業に二つある。登壇は生じた。

河野 — 自身の推進力が高く、懐疑漸次。

高田 — 自身の態度を保留する。登壇で政府批判に入っており、

発言の強さについては、河野に比べて、その大学復帰と同じく強さ。

河野は、自身の〈良心〉を、大学で求め、登壇で求め、持ちつ

ける過程で、支援したり、批判したりすること、登壇は夕々

しいと云い、生活の面から云い。

松下 — 「懐疑」と「保留」の時間性があること、指力にからぬと

いって、構造が問題ではないか？

宮内 — 登壇の周縁の研究をするに自体が分けた。

河野 — 宮内と比べ、一統建業士の角書をする記事の多いのに、

私に、物理学者として仕事する批判はできない。どっちも

国家の承認がある。

宮内 —

松下 — 建業士の国家資格を争うことと、登壇にかかわる

ことは共通するところがあるのに、ちがうところは？

河野 — 同じだ。建業士にせよ、人の死ぬ確率と、登壇

の事故で人の死ぬ確率は、相対的に〈同じ〉といえる

松下 — それだけ争った。(キツイ言い方をあえておきかけた。)

建業士、仲間の〈素人〉が、その出現過程や、一夕処理に参加

できるが、登壇はそうではない。また、建業士空間といふことが

た。ハリケート空間がとれてあるというは、権力とたたかっ
止揚する機能をもつ。 尊子カについて、このように掘起し
人は、またへき。

河野 — ...

満田 — 結論だけをもっても困る。 尊子カには、それ以外の
専門的知識と体験が要ると論じられたいところあり、
カレカレにタメが、いへない。

河野 — 人間は、35歳の半段でもエネルギー(アタ)が火を打た。
石油も、あと20年しかたない。

田房 — 今のはオカシ。 また、もうがどい、という二と、尊子カを
推進せぬは、どういふは全く関係がない。

満田 — 長考は、10、17 シンポジウムをテーマとして請
渡したか?

田房 — いすも、いすも。 会場で既取したものは、ここに置くか?
(と、室内化にきくとが、室内化は、ここにへかして持って、
ここに置く、という。 全員シラケていえるうちに、田房は
電車が早く来る、というて立ち去る。)

松下 — このテーマの続きを11、17にもやりたい。

(山浦は、このお話をきいてききたいと思ってる。 何ともしよないと
し知は思っている。)

脚
朝
炎
に
か
か
る
ほ
と
く

⑫ 全員以外に先ず取調べなく済ませ、河村氏は、ボツリと「坂本本人はお元気ですか？」とたずねられた。実は、この頃には、この数カ月前、河村氏が知に送る唯一の質問書であった。その直後には、

1. 数年前に岡山大学等にシロコシの講師として参加した河村氏が、テーマ(字族、国策、〜にかかると)との関連で、全員を代表して、坂本秋子と(岡山大学知命を襲撃した) (証拠参加者) 坂本宇信との既婚関係、その経緯から公務員宿舎から娘と二人と共に近隣のアパートへ移った。)に案内に行かれたことである。

2. その際、秋子と二人、坂本氏(ヤブ下)が、字族をこめようを話釈をして解之がたゝんで別居したことや、岡山大学卒業した女性と男の子を生んだがその経緯に疑問があること等。

3. (因に送る) (秋子と二人) 知は、前記の公務員宿舎の明後訴訟の証人として出てきたこと、それと共に、前項のテーマについて、河村氏を合せて話し合ったことから、河村氏が秋子と二人にこの場をめぐってくわすこと提案してくわすこと、今年夏以降に依頼してきた。秋子と二人は、河村氏のTel.に打って拒否。

この経緯から見て、河村氏は、知命にのみならず、坂本氏

山浦 元 様

12-10付で貴重なご意見を入手でき、誠に大変有
り難い。お礼を申し上げます。

昨年12-6に東京でおこなったシムラシカの記録の追加分
が入った資料を1冊お送りします。記録には以前にAURAに
お送りしています。

来年はますます東京へ直接でいろいろ資料の交換が
できる。今後等々山浦と大塚との本格的な意見交換を
したいと念願しています。

'86. 12. 24 松下 昇